

令和5年度 山形県立博物館 特別展



スマトラドラ骨格標本：
仙台市八木山動物公園 蔵

Bones

—生き物の骨格はどうなっているのか—

令和5年 6月3日(土)～8月27日(日)

9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日 / 月曜日 ※ただし7月17日は開館、翌18日は休館

入館料 / 大人300円 (20名以上の団体150円)

／学生150円 (20名以上の団体 70円)

※高校生以下は無料。障がい者とその付添いの方は無料。「学生」には専門学校生等を含む。

山形県立博物館

〒990-0826 山形県山形市霞城町1番8号

Tel 023-645-1111 Fax 023-645-1112

URL <http://www.yamagata-museum.jp/>



主催 / 山形県立博物館

協力 / アクアマリンふくしま、岩手サファリパーク、大井沢自然博物館、
仙台市八木山動物公園フジサキの杜、鳥海イヌワシみらい館、
東北大学自然史標本館、宮城教育大学、山形県立自然博物館、
山形県立山形中央高等学校、山形大学附属博物館、
やまがたヤマネ研究会 (50音順)

Bones –生き物の骨格はどうなっているのか–

普段目にする動物の外見は、骨に筋肉や腱が付き、さらに表皮や羽毛、体毛などで表面が覆われてできています。しかし、内部構造である「骨格」は容易に見ることはできないため、その構造や仕組みを知る機会はほとんどありません。

本展示会では、「生き物の骨格はどうなっているのか」をテーマに、「骨格」そのものを見ることで、進化の様子や多様さなどを観察・比較してもらうことを目的に開催しました。ぜひ、その複雑さ・巧みさに触れてください。

第1部「脊椎動物の進化」

魚類、両生類、は虫類、鳥類、ほ乳類の骨格標本を連続して展示し、それぞれの動物の骨格に見られる共通したつくりと、進化によって変化したつくりを比較します。外見からはわからない、骨格からわかる進化のしくみを解説します。



ニュウドウカジカ骨格標本:アクアマリンふくしま 蔵

第2部「骨格が示す生物多様性」

ほ乳類を中心に、身近な動物や普段目にするものないめずらしい動物の骨格標本を多数展示します。それぞれの骨格の特徴や共通点、同じ分類の動物どうしても大きく違いつくりや仕組みなどを紹介しながら、生物の多様性について解説します。



ライオン骨格標本:岩手サファリパーク 蔵

第3部「山形に生きる動物たち」

陸上ほ乳類と鳥類を中心に、山形県に生息する動物の骨格標本を展示します。展示室では実物のはく製も並列展示しており、骨格とはく製を同時に観察・比較することができます。郷土に息づく多様な生き物たちをとおして、山形の豊かな自然の姿にせまります。



ニホンカモシカ骨格標本:寄贈 山形大学

関連行事

記念講演会 (各回とも13:30~15:30/会場:講堂) **定員25名程度**

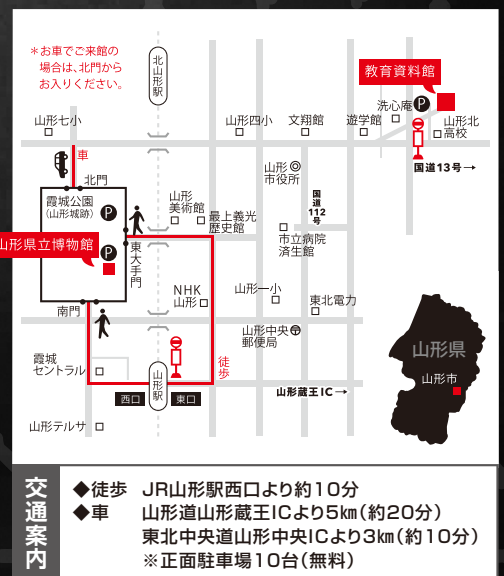
- ① 6月18日(日)「骨格標本室へようこそ!」&「楽しいピーチコーミングで骨体験」
橋本 勝 氏 (元宮城教育大学協力研究員)
- ② 7月 1日(土)「鯨の骨と化石の話」
大石 雅之 氏 (元岩手県立博物館学芸部長)

記念イベント (9:30~11:30/会場:講堂) **定員20組程度**

7月17日(月・祝) やまがたヤマネ研究会による
「恐竜から鳥の進化が分かる!? ニワトリの足の骨格標本つくり」

展示解説会 (各回とも13:30~14:00)

- ① 6月4日(日)
- ② 8月6日(日)



すべての「記念講演会・記念イベント」は事前申込み制となります。詳しくは当館ホームページをご確認ください。